追加資料1

令和8年 人事院勧告の概要

1. 給料月額について

月例給 ［本年4月分の民間給与を調査して官民を比較］
　官民較差：15,056円(3.51%)

採用市場での競争力向上のため、初任給を大幅に引き上げ
　一般職(大卒) 232,000 円 ⇒ 241,500 円 (+9,500 円、+4. 1%)
　一般職(高卒) 200,300 円 ⇒ 209,800 円 (+9,500 円、+4. 7%)

・業務遂行において重要な役割を担っている中堅層以上の職員について昨年を上回る改定
・民間動向や人材確保の重要性を踏まえ、初任給を引上げ
・平均改定率(全体)3.3%

給料表級	平均改定率
1 級(主事級)	4.0%
2 級(主事級)	3.6%
3 級(主任級)	3.4%
4 級(係長・主査級)	3.1%
5 級(課長補佐級)	3.0%
6 級(課長級)	3.0%
7 級(部長級)	3.0%
指定職	3.0%

2. 賞与(ボーナス)について

賞与 ［直近1年間(昨年8月から本年7月)の民間の支給状況を調査して官民比較］

一般職 年間 4.65 月分 ⇒ 4.70 月分 (+0.05 月分)
指定職 年間 3.50 月分 ⇒ 3.55 月分 (+0.05 月分)